

映像教材イントラネットで

「確かなものづくり」に反映

NIPPO

NIPPOは、舗装工事の施工方法などを習得するための社内向け映像教材を、イントラネットを通じて全社員が見ることができ、過去の制作した施工ノウハウやマニュアル類のDVD教材

が80タイトル以上、また、技術営業用の映像数十タイトルがあり、それらをイントラ内の「ビデオ図書」と呼ぶページに収録。現段階で30タイトルほどが閲覧でき、年度内には百数十に及ぶすべての教材・資料の収録を完了

させると定めた。いつでもどこでも見ることができ、環境を社員に提供することで技術の底上げを図り、同社が目指す「確かなものづくり」に近づいていくのが狙いだ。舗装最大手の同社には、100件を超える特

殊工法や各種の特殊施工機械などが取りそろっており、これらをベースに蓄積した技術のノウハウ



社員は「ビデオ図書館」から各種教材を見ることができる

を映像化。社員教育に利用するための15〜30分程度のビデオやDVD教材を制作しており、教材は各支店に配布し、技術研修などに活用してもらっている。

ただ、配布した教材すべてが十分に使われていないという実態もあることから、より多くの社員が見ることができるよう、組織みについて検討を重ねた

結果、イントラ内にすべての教材を収録し、全社員に配布しているパソコンから閲覧できるようにした。

7月に立ち上げた「ビデオ図書館」は、同社のビデオ教材の制作を手がけるカラーテック（東京都新宿区）の協力を得て、全タイトルを閲覧できる環境を構築した。

すでに全社員あてにビデオ図書館を立ち上げたことを周知済みで、各種研修への活用も始まっている。映像教材を参考にすれば、初めて経験するような工法でもある程度取り組めるようになるという。

同社生産技術機械部では「個人のスキルアップや集合教育を通じた技術力の底上げに役立つだろう」としており、今後は新たに開発された技術の社内周知など、ビデオ図書館の各種活用策についても検討していく予定だ。